

日本呼吸療法医学会誌「呼吸療法」

投稿規定

[2025年9月改訂]

本誌「呼吸療法」は日本呼吸療法医学会の機関誌であり、年2回発行しています。呼吸管理および関連領域の学術論文の投稿を受け、査読審査のうえ掲載します。

1. 論文種別

呼吸管理全般に関連する原著論文、症例報告、総説、呼吸管理の工夫、短報の投稿を受け付けます。解説、講座、ユーザーレポートは原則として依頼原稿としますが、とくに投稿を希望される場合は学会事務局までお問い合わせください。

(1) 原著

- ①前向き研究（介入または時間的経過にもとづく観察研究、比較対照試験、ランダム化試験など）
- ②実験結果の報告（基礎研究やベンチスタディなどを含む）
- ③後ろ向き研究（比較対照試験、研究目的に対し結果が明白に示されており前向き研究への足がかりとなる論文など）
- ④大規模な現状調査（対象が適切で回収率が低いアンケート調査、調査目的が明白であり結果が今後の研究に役立つものなど）

(2) 症例報告・呼吸管理の工夫

- ①1例報告から数例の報告
- ②多数の症例を後方視的に解析検討した報告（統計解析による結果が少ない、比較対照試験ではないなど原著に相当しないもの）
- ③呼吸管理の工夫に関しても上記①②は同様

(3) 短報

- ①上記の（1）、（2）とするには有効なデータが限られる論文
- ②種別を問わない

(4) 総説

特定のテーマについて広く文献や情報を考察し、その内容を包括的に解説した論文

(5) Letter to Editor

本誌に発表された論文について、反論あるいは賛成の意見などを手紙形式でまとめたもの

2. 投稿内容

(1) 他誌へ発表あるいは投稿中のものはご遠慮くだ

さい。投稿に際しては、“本論文の内容は、他誌に未発表であり、現在投稿中でもない”と記載された誓約書（学会ホームページ掲載）に著者全員が署名し、投稿原稿とともに学会事務局宛にお送りください。ただし、別に定める再掲載（二次投稿）に当てはまる場合にはその限りではありません。

- (2) 臨床研究は書面による患者・被検者の承認、ならびに所属施設における倫理委員会などの承認を受けること、動物実験は医学生物学的研究に関する国際指針の勧告に沿ったものであることが必要で、その旨を本文中に記載してください。
- (3) その他、「不正論文取り扱い規約」を必ず確認し、遵守のうえ投稿ください。

3. 執筆要領

- (1) 原稿は、WordのA4サイズに明朝系フォントでサイズ10.5ポイント、40字×30行でご執筆ください。
- (2) 原稿の1枚目には、①原稿の種目、②表題、③著者名、④全著者の職種、⑤所属および住所、連絡先（氏名、〒、住所、電話番号、E-mailアドレス）、⑥キーワード（2～6語）、⑦corresponding author（責任著者）のみを記し、本文は2枚目からご執筆ください。

著者は筆頭者を含めて8名以内とします。多施設共同研究などでそれ以上の著者を必要とする場合は学会事務局までお問い合わせください。

- (3) 本文には、序文（はじめに）、対象・方法、結果、症例、考案（考察）、結論（結語）などの見出しをつけてください。
- (4) 文章のはじめや行を改める場合は、1字分をあけて書き始めてください。
- (5) 原稿は横書き、口語体とし、常用漢字、新かな使いに準拠してください。
- (6) 専門用語で適当な和訳のある場合は、極力それ

をご使用ください。訳語は日本医学会医学用語委員会編「医学用語辞典」、日本呼吸療法医学会用語集に準拠してください。

- (7) 文中に反復される語は略記号を用いてください(略記号の一覧を参照)。初出の完全用語の後の括弧内に英語：略記号の順に明記してください。タイトルにはできるだけ略記号を使用しないでください。
- (8) 専門用語で適当な和訳のない場合、あるいは外国の人名、地名などの固有名詞は、原語にてご記述ください。
- (9) 慣用されている外来語は片仮名書きにてお願いします(例：アルコール、ペニシリンなど)。
- (10) 計量単位は国際単位系やCGS単位系での記載を基本としていますが、容量ではリットル単位系、圧力では慣用計量単位系(mmHg、cmH₂Oなど)を使用しても結構です。単位当たりの計量表現では分数を用いて、mg/kg、μg/kg/分のように記載してください。
- (11) 薬品名は日本語の一般名を使用してください。商品名を記載する場合は一般名の後に括弧内に記載してください。
- (12) 機器の名称の後には、会社名と国名を、括弧内に記載してください。
- (13) 文献は、出所順に番号を付け、以下のとおり記載してください。また、本文中の引用箇所はその文献番号を記入してください。著者名は3名までとし、ほか、またはet alとしてください。インターネット上に公開されているリソースを引用文献として引用することはできますが、当該リソースの所有者がそのサイトへのリンクを禁止している場合には引用することはできません。なお、抄録については発行から5年以内のものに限り、参考文献としての記載を認めます。

【雑誌】著者名：表題、誌名、発行年(西暦)；
巻：通巻ページ始-通巻ページ終、

- 1) 樋口美栄子, 豊岡秀訓, 堤 晴彦ほか：周期的I/E比変化を伴う高頻度ジェット換気法の試み—その1. CO₂排泄能の調節のために—。麻酔。1983；32：1046-52.
- 2) Mackenzie CF, McAslan TC, Shin B, et al：The shape of the human adult trachea. Anesthesiology. 1978；49：48-50.

【単行本】著者名：表題、書名(版数)、編集者名、
発行地、発行所、発行年(西暦)、ppページ始-ページ終、

- 1) 島田久八郎：呼吸の制御。新生理学下巻植物的機能編。間田直幹, 内菌耕二, 伊藤正男ほか編。東京、医学書院, 1982, pp430-51.
- 2) Prys-Roberts C：Hypercapnia. In：General Anaesthesia. Gray TC, Nunn JF, Utting JE (Eds). London, Butterworth, 1980, pp231-46.

【WEB】掲載者：タイトル、URL(閲覧年月日)

- 1) 厚生労働省：専門職としての意識と責任。
<http://www.mhlw.go.jp/file/00.pdf> (2020年9月1日閲覧)

- (14) 挿入する図表は本文中に貼り込まず別途添付し、本文中の挿入箇所には図表番号を記入してください。ページ数が著しく増加する付録資料についてはsupplementとして別途作成してください。
- (15) 図、写真、supplementはPower PointあるいはJPEGファイルなどでお送りください。
- (16) 各図表、supplementにはタイトルと簡単な説明文を和文で付記してください。
- (17) 他の書誌より引用した図表は、おのおのその出典をできるだけ詳しく付記してください。他の文献から図表などを転載する場合には、著者の責任において原著者および出版社の了解を得たうえで出典を明記してください。またその場合、図表にはなるべく手を加えないでください。なお、国内文献・海外文献いずれにおいても図表に転載許諾料が発生する場合は、著者の負担となります。
- (18) 「投稿論文確認表」を学会ホームページからダウンロードし、各項目を確認してチェックマークを入れ、原稿とともにお送りください。投稿規定に沿わない原稿は受理されないことがあります。

4. 原稿の様式

長さは原則として以下の範囲内でおまとめください。

- (1) 原著・総説
12,000字(図表および文献を含む)以内(制作頁で8頁)
- (2) 呼吸管理の工夫・症例報告
8,000字(図表および文献を含む)以内(制作頁で4～5頁)
- (3) 短報

3,200～4,800字（図表および文献を含む）（制作頁で2～3頁）

(4) ユーザーレポート

1,600字（図表および文献を含む）以内（制作頁1頁、見開きで広告を掲載）

(5) Letter to Editor

1,000～1,200字（図表なし）

- ※ 図表の分量は、サイズが制作頁1頁に及ぶ大きさであれば1,500字、2分の1頁程度であれば800字、4分の1頁程度であれば400字に換算してください。

5. 要約

原著、総説、呼吸管理の工夫、症例報告には、400字以内の和文要約をつけてください。要約を読めば、目的、方法、結果、結論の概略がわかるようにしてください。短報には要約がありませんので、結語を読めば内容がわかるようにご執筆願います。

6. 利益相反（conflicts of interest：COI）の開示

日本呼吸療法医学会ホームページ掲載の「呼吸療法領域の研究における利益相反（COI）マネージメントに関する指針」ならびに「同施行細則」に従って、初回投稿時に全著者の「本会の機関誌「呼吸療法」等で発表を行う著者の利益相反（COI）申告書」（過去3年間）を提出してください。あわせて、日本呼吸療法医学会が規定する全著者のCOIを論文末尾（参考文献リストの前）に明記してください。COIがない場合においても、「本稿のすべての著者には規定されたCOIはない」などを明記してください。「本会の機関誌「呼吸療法」等で発表を行う著者の利益相反（COI）申告書」は学会ホームページ上でオンライン申請をしてください。

7. 原稿の送付先

- (1) E-mailでの投稿を受け付けます。誓約書などの

一式はPDFファイルとし、添付ファイルの合計容量は7MB以内でお送りください。

- (2) 以下のE-mailアドレス宛にお送りください。

一般社団法人日本呼吸療法医学会事務局 宛

E-mail：kokyu@medica.co.jp

- (3) 事務局から投稿受付メールが届かない場合は、受信トラブルが考えられますので、必ずお問い合わせください。

8. 論文の採択

- (1) 論文の採否は編集委員会の審査によって決定します。
- (2) 査読は、編集委員を含む2～3名の査読者が行います。
- (3) 査読結果は4～6週間後に返送しますが、場合によっては時間がかかることがあります。3カ月以上連絡がない場合は学会事務局までお問合せください。
- (4) 査読により論文の修正が必要な場合は、再投稿期限（4カ月）内に修正論文をお送りください。それ以上遅れた場合は新規の投稿論文として取り扱うことになります。
- (5) 依頼原稿のほか、各種ガイドライン、委員会報告、挨拶・声明文などの寄稿原稿についても、編集委員会による査読を経て採否を決定します。

9. その他

掲載された論文の別刷をご所望の際は実費にて申し受けます。必要別刷部数を学会事務局までご連絡ください。また、個人使用に限定して仕上がりPDFデータを提供します。

10. 著作権

掲載された論文の著作権は日本呼吸療法医学会が保持します。